

TPO
T-P-O

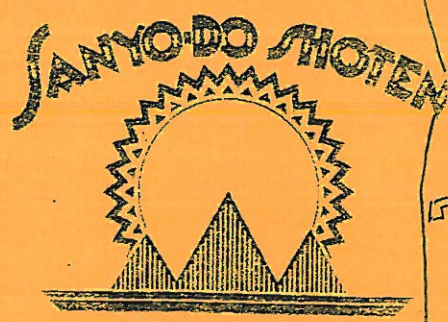
TIME PLACE OCCASION
時と場所と場合に
応じた服装などの
使い分けTPO
この和製英語を
つくったのも
石津謙介さん

山陽堂だより 26

2011年10月神無月

本の紹介

『TAKE IVY』^{2415円} 復刊版
1960~70年代に一世を
風靡したメンズファッション
「TAKE-IVYスタイル」の提唱者
こそVAN創業者石津謙介さん。
2年前アメリカに逆輸入された
この本は3万部のヒットとなった。
『ええわーこしい』^{1680円} 石津謙介
ファッション界の巨人。
幼少の頃からファッションに開眼
VANの隆盛から経歴を以て復活
晩年まで打ちまわすの源流を
人生を描く。



青山通り表参道
交点

山陽堂 隣国いはいに

写真家 線上和美氏撮影

10月20日
生誕100年!!
「IVY」記念日

石津謙介さん

ちよつと
お顔か
お二つ?
...かな?

『石津謙介生誕100年』展 日視社

10月8日(土) ~ 10月31日(月) 11:00~19:00

はじめりました! みなさまぜひ来てください。
戦後の青山を語るとき、この方が存在を忘れることはできません。
青山がファッションのふやしな街といわれるようになった
のも、石津謙介さんが創立したVANの本社をこの地に
置いた頃から。☺️が店番をはじめた1970年代前半
このあたりは「VAN TOWN」とよばれていたようです。
チャリ-にはこの頃のイラスト地図や、安西水丸さん
大橋歩さん コシジユンコさん テリー伊藤さんら多くの
人からのハートメッセージ。写真が展示されています。

余談ですが...

石津家も山陽堂も江戸時代は、国山城下の隣町同士で、同じ
紙を扱う問屋でした。文献を調べると同じ場所に互いの屋号
をみつけることができます。☺️勝手に不思議な縁を
感じています。

谷内六郎さん『北風とぬりえ』展のこと

マツ4箱のような小さな書店になってから、山陽堂は50年近く六郎さんの壁画といっしょです。いつか、六郎さんのご家族にお目にかかって、六郎さんの壁画が街ゆく人たちに愛着をもたせ大切にされていることをお伝えしたいと思っていました。

その「時」は思わぬところから運ばれてきました。前号でもご登場いただいた出版社の天野祐吾作業室さんからです。(天野さんと六郎さんの出会いは、山陽堂のHPブログに詳細有)

以前HPにも書きましたか、天野さんは「広告批評」という雑誌を30年間出版していたマドウ出版の社主であり、私か最終講義に通わせていただいた「広告学校」の校長先生でもありました。

(ちなみに私はコピーセンターの月組。クラスメートの卒業生(笑)に自分の頭を更にもみせつけられぬい子日々がよくなりました。余談でした。)なんと、恐ろしくもこの校長先生か、六郎さんの展覧会を通して六郎さんご家族と山陽堂をつなげてくれました。

2回めのイベントには、六郎さんのご長女広美さんか、やさしくてびょうきんで、でもたいせつなことはちゃんと遊びの中で教えてくれた六郎父さんの話をきかせてくれました。いつかまた六郎さんの作品を展示することかできたらいいな。

六郎父さんのにきたまあるいおにかりはどとき

ポーターニけしの販売も

シューワリスさんからの報告です。

仙台の8月末までのポーターニけしグッズの売上げからの義援金総額が44万440円になりました。本日、34万440円を「日本赤十字社」、10万円を「災害復興寄付金として宮城県」に

ゆきゆき振込みいたしました。

引き続き、東北への支援、

「Miamas TOHOKU」のご協力を

宜しくお願いします。(一部振可)

683円(税込み) シューワリス株式会社同

山陽堂でも販売しています。にけしに年納をxか

120円印字は、ポスターにホッ!

買ってください



にけしグッズ
うれしいな!

山陽堂の連絡先

107-0061
 浜辺北青43-5-22
 TEL 03-3401-1309
 FAX 03-3401-1358
 email
 sanyod@bi.wakwak.com
 http://sanyodo-shoten.co.jp
 <休>
 月~金 10:00~19:30
 土 11:00~17:00
 <休>
 月~金 11:00~19:00
 土 11:00~17:00